

平成 28 年 8 月 25 日

「ネパール大地震緊急募金について」（お礼とご報告）

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン（WIJ）

代表理事 藤井 克徳（きょうされん 専務理事）

副代表理事 阿由葉 寛（全国社会就労センター協議会 会長）

副代表理事 川俣 宗則（日本セルフセンター 会長）

副代表理事 中村 敏彦（ゼンコロ 会長）

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン（WIJ）では、会員団体に所属する会員事業所の皆さまに平成 27 年 4 月 25 日にネパールで発生した大地震に対し、緊急募金の呼びかけをお願いしました。そうしましたところ、平成 27 年 11 月 16 日までに 47 団体より、1,825,103 円が寄せられました。皆さまの温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

皆様から寄せられた金額のうち、122,139 円は、ワーカビリティ・アジア（WAsia）唯一のネパール会員である NRCN ネパール（ネパールリハビリテーション協会）代表のラム氏の WAsia 会議 2015（7 月 8～9 日、タイ・パタヤで開催）への旅費支援として活用しました。残りの 1,702,964 円については、ネパールにおいて“働く”に係る障害者支援を展開している 3 団体（上述の NRCN ネパールに加えて、NAPD ネパール（ネパール身体障害者協会：代表 キラン氏）、SHRUTI ネパール（ネパール難聴者協会：代表 ニータ氏）に対して、それぞれ日本円換算で 740,410 円、370,260 円、370,260 円を、6 月 9 日に現地ネパール・カトマンズにおいて開催されたワークショップの場で、阿由葉副代表理事がお渡しました。このネパールへの渡航経費として、残りの 222,034 円を活用させていただきました。（3 団体の簡単な紹介は 3 ページ、収支は 5 ページ参照）



（ワークショップ終了後の
集合写真）

【義援金の現地送達決定までの経過】

昨年7月8～9日にタイ・パタヤで開催された WAsia 会議 2015 におけるラム氏の報告によれば、現地の障害者への支援は行き届いていないとのことであり、残りの金額についても早急にネパールにお渡しするべく、WIJ 理事会で支援団体や送金方法について協議を続けました。

ネパールをはじめとしたアジア各国への支援活動を展開している APCD（アジア太平洋障害者センター）（2008年にセルブ協と WIJ が合同で実施した東南アジアを訪れての海外障害者雇用・就労事情視察研修セミナーでもご協力をいただいた団体です）に協力いただき、情報収集を続けてまいりましたが、現地の情勢が極めて不安定で銀行送金では届かない懸念があるとの助言をいただきました。そこで、WIJ 理事が今年1～3月に現地訪問し、支援団体および現地メディアなどが一堂に介した場（ネパール政府関係者にも出席いただくワークショップを開催）で義援金をお渡しできるよう計画してまいりましたが、政情不安が続く現地入りすることが危険であるとの状況はしばらく変わらず、状況が改善した今年の春から本格的に現地入りの調整をし、6月9日（木）に APCD の協力を得てカトマンズにおいてワークショップを開催（ワークショップの企画自体は上述のネパールの3団体が担当）、その場で義援金をお渡しすることとし、WIJ からは阿由葉副代表理事が現地入りすることになりました。

【ネパール現地入り】

ネパールへの現地入りは、阿由葉副代表理事、セルブ協事務局職員に加え、阿由葉副代表理事の知人のネパール人留学生（足利工業大学で教鞭をとるビガス氏）にも同行協力をいただき、移動日も含めて6月8日～12日の5日間で行いました。

タイ・バンコク空港での乗り継ぎ時に、APCD の二宮所長、佐野事業部長、Nongnart 氏と合流、6月8日（水）昼過ぎにカトマンズ空港に到着、空港で3団体の代表者等の出迎えを受け、ワークショップの会場となるカトマンズ市内のホテルに移動、翌日のワークショップの開催準備を行いました。

6月9日（木）のワークショップは、今回義援金をお渡しした3団体が企画を実施（APCD が企画・開催について協力）、プログラムには3団体の関係者を含めて50名程度が参加、その多くが障害のある方でした。当日は現地でストライキ（抗議行動）が発生した関係で中心部の交通状況が悪化し、本来であればもっと多くの方がご参加いただけたはずとの説明がありました。ワークショップは、ネパール政府関係者（女性子ども社会福祉省から大臣（副大統領）である Sudarshan 氏と、事務官のナンバー2である Bharat 氏）も出席されました。9時からのオープニングセレモニーに続き、阿由葉副代表理事、APCD 二宮所長のスピーチとなりました。阿由葉副代表理事は、義援金を届けるのが遅れたことと今回のワークショップ開催に至った経過を説明され、東日本大震災時に WAsia 関係団体から支援をいただいたことへの謝意、今回の義援金がアジア各国の連帯・絆につながることへの期待、3団体に対する義援金の有効活用を依頼され、スピーチを終えられました。続く二宮所長

のスピーチの中でも、日本からの厚意を是非有効に活用してほしい旨の重ねての依頼がありました。

午後には3団体からのこれまでの支援活動の報告と今後のプランに対する説明、ネパール政府（子ども社会福祉省）からの報告、JICA ネパール事務所の駐在員の方からの復旧・復興支援活動の報告と、盛り沢山の内容で実施されました。最後に阿由葉副代表理事が3団体代表者に義援金と日本からのお土産（セルプ協会員施設である三重県・ふっくりあモオンマールで製造されたサブレ「伊賀流麦卵焼 伊賀の飛猿」、伊勢志摩サミットのコーヒータム時お茶菓子として採用されたものです）を贈呈し、閉会となりました。

ワークショップの中では、参加者の中で大地震の被害に遭われた方が順次報告をしていくという時間も設けられました。ご家族がお亡くなりになられた方、家が倒壊した方等、被害の状況を皆鮮明にお話しされました。そうしたこともあって、その後の各団体からの報告、ネパール政府やJICAの報告を踏まえ、必要な支援を考えることにもつながりました。



(阿由葉副代表理事のスピーチ、右隣はAPCDの二宮所長)



(SHRUTI ネパールのニータ代表に義援金を渡す阿由葉副代表理事)

3団体の紹介

① NRCN ネパール（ネパールリハビリテーション協会）

ネパールで、障害者の権利向上を目的とし、職業教育や技術訓練を通じた雇用創出、収入拡大に焦点を当てて活動をしている団体。

② NAPD ネパール（ネパール身体障害者協会）

ネパールの身体障害者の権利を確立し推進するため様々な分野で活動している団体。技術訓練の提供、能力強化、障害者問題を検討するための調査研究等を行っている。

③ SHRUTI ネパール（ネパール難聴者協会）

ネパールでの難聴者の平等な社会参加を確保するために、関連する諸問題に取り組んでいる団体。

翌6月10日（金）には、阿由葉副代表理事は3団体の代表と APCD 関係者とともにネパール子ども社会福祉省、JICA 事務所を訪問、9日に開催されたワークショップの開催報告とあわせて、今後の支援活動への協力を依頼しました。ネパール子ども社会福祉省では、前日のワークショップは急遽欠席となった事務官のトップである Shankar 氏を訪問しました。ネパールにおける障害者支援を今後一層展開していくためにも、海外の様々な団体からの協力とネパール国内の支援団体の活躍が欠かせないことを説明し、そのためにも関係者が一堂に会する場を意図的に設けることでネパールの障害者支援に対する関心を集め、きっかけとしていくことの提案をしました。JICA 事務所では佐久間所長を訪問、ネパールにおける JICA プログラムに障害者分野の活動がないことから、JICA 内に障害者分野の担当も定め、3団体とも連携しプログラムを設けてもらいたいとの依頼をし、前向きな回答をいただきました。



（ネパール女性子ども社会福祉省訪問時の様子。

左からラム氏、キラン氏、ニータ氏、NAPD ネパールスタッフの方、阿由葉副代表理事、Shankar 氏、Bharat 氏、佐野部長、二宮所長）

3団体からは、今回の義援金を活用した支援について、期間を区切って（11月を目途に）報告いただくこととしています。皆様からいただいたご厚意が有効に活用されているかについても、今後確認を継続していく所存です。

大変遅くなりましたが、ここにご報告と合わせ、ご支援・ご協力いただきました皆さまへ改めて感謝申し上げます。

<WIJネパール地震支援活動の収支>

1. 義援金額 1,825,103 円 (47 件)

2. 旅費支出 122,139 円 (WAsia 会議 2015 NRCN ネパール ラム氏旅費)

残額 1,702,964 円

3. 義援金贈呈経費 (事前) 219,760 円 (以下、内訳)

・ 航空券代 158,900 円 (2 人分)

・ ビサ取得料 26,000 円 (2 人分)

・ 国内交通費 6,620 円 (2 人分)

・ 海外旅行保険料 13,240 円 (2 人分)

・ 雑費 (土産代等) 15,000 円

残額 1,483,204 円 ←全額を米ドルに換金 (13,463 米ドル)

4. 義援金贈呈経費 (現地払い)

宿泊費@40 米ドル/泊×3 泊×2 人=240 米ドル (26,421 円) (1 ドル 110.08 円で換算)

※ 不足分 (21,908 円) は義援金口座残金 (利息等) 11,156 円と WIJ 口座より補填

5. 義援金

NRCN ネパール 50% (約 6,731 米ドル)

NAPD ネパール 25% (約 3,366 米ドル)

SHRUTI ネパール 25% (約 3,366 米ドル)

⇒ 計 13,463 米ドル (1 ドル 110.08 円で換算) (1,482,007 円)

※ 「セミナー料金」はこの中から負担いただいた。